

2022年度（対象年度：2021）自己点検・評価シート

基準8 教育研究等環境

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項《箇条書き》 *各項目に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。 ・この基準においては、教育系アシスタントスタッフ制度が、毎年度、教育研究活動の促進にどのように貢献しているのか伸長点や改善点を点検・評価し、同制度の成果を向上させていくことが望まれる。【留意点】
--

<【参考】認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目<大学基準協会の「点検・評価項目」に相当> 点検項目（評価の視点）<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価 現状
801	学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。 ①大学の教育理念・目的、各学部・研究科の教育理念・目的等を踏まえた教育研究等環境に関する方針の適切な明示 ・教員の教育・研究の環境整備に関する方針	A
804	教育研究活動を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。 ①研究活動を促進させるための条件の整備 ・ティーチング・アシスタント(TA)等の教育活動を支援する体制	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために従来と異なる対応・対策を行った場合は、その取り組みがどのように点検項目を満たすのかについても併せて説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
801①「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」については、全学的課題事項として挙げられており、2016年度は研究部と協議し、「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」の原案を作成しようとしていた。 しかし、「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」に求められる内容は、教育組織の編制原理における「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（『学位授与の方針』『教育課程編成・実施の方針』

<p>「入学者受入れの方針」策定の基本方針、「学生支援の方針（「修学支援の方針」「学生生活支援の方針」「キャリア支援の方針）」、「教育研究等環境の整備に関する方針」の中の「教育研究等に係る施設設備に関する整備方針」に包括されると判断し、方針の乱立を避けるため、これを「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」と位置づけることとした [801a]。</p>	
804①	<p>これまで「教育補助員・TA・チューター制度の運用ガイドライン」を整備し、これに基づき、教育上必要とされる教育補助員・TA を適切に雇用してきた。</p> <p>しかしながら、本学には教育研究活動等の学生サポート制度が数多くある（教育活動関係で 13 職種）ものの、業務内容や給与の基準等が整合しないまま運用されていた実態があった。そこで、部局長会のもとに「学生による教育・研究活動等のサポート制度に関する改善方策検討委員会」（2016 年度第 40 回部局長会（2017.2.23）承認）を設置し、2017 年度には、委員会答申「学生による教育・研究活動等のサポート制度に関する改善方策について（答申）」[804a] をもとに、業務内容や給与の基準等の整合について、部局長会で審議が行われ、2018 年度第 4 回評議会（2018 年 7 月 30 日開催）において「教育系アシスタントスタッフ規程」を制定し、2019 年度から施行した[804b]。併せて、「教育系アシスタントスタッフ規程」第 11 条に基づき、新たに「教育系アシスタントスタッフの運用に係る内規」を制定した[804c]。</p> <p>上記制度にかかる運用等にかかる検証については、現時点では行っていないので、当該制度が教育研究活動の促進のうえで、どのような貢献等をしているか、伸長点・改善点を抽出のうえ、検証を行い、同制度の改善・成果向上に向けた方策を検討する。</p>
804①	<p>対面授業の実施にあたり、コロナ禍の影響によって合理的配慮を要する学生については、授業をオンライン配信することで学修機会を担保することとなったが、この授業運営において教員がサポートを要する場合には、アシスタントスタッフを配置・運用できるようにした[804d]。</p>
<p>長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、対面授業の実施にあたり合理的配慮を要する学生については、授業をオンライン配信有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの</p>	
<p>課題事項《箇条書き》*伸長すべき点、改善すべき点</p>	
801①	「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」の策定
804①	学生による教育・研究活動等のサポート制度に関する検証・改善

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

<p>対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない</p>	
801①	<p>方針の乱立を避けるために既存の「教育研究等環境の整備に関する方針」を「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」と位置づけている。</p>
804②	<p>「学生による教育・研究活動等のサポート制度に関する改善方策について（答申）」をもとに、業務内容や給与の基準等の整合について、部局長会で審議し「教育系アシスタントスタッフ規程」を規定している。</p>

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
804①	学生による教育・研究活動等のサポート制度に関する検証・改善

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
801	a	「教育研究等環境の整備に関する方針」

804	a	「学生による教育・研究活動等のサポート制度に関する改善方策について（答申）」
804	b	教育系アシスタントスタッフ規程
804	c	「教育系アシスタントスタッフの運用に係る内規」
804	d	オンライン授業における教育系アシスタントスタッフの業務内容について（報告）

II. 評価結果

総評
<p>教育理念・目的、各学部・研究科の教育理念・目的等を踏まえた「教育研究等に係る施設設備に関する整備方針」を定め公表している。本方針には「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」も内包されている。</p> <p>教育活動を支援する体制は、「教育系アシスタントスタッフ規程」「教育系アシスタントスタッフの運用に係る内規」を定め、ティーチングアシスタント等を整備している。</p> <p>2021年度は、対面授業の再開にあたり、コロナ禍の影響によって合理的配慮を要する学生には、授業をオンライン配信することで学修機会を担保している。この授業運営に適切に対応できるよう、アシスタントスタッフの配置・運用方法を変更している。</p> <p>以上、教育研究等環境に関する方針を定め、アシスタントスタッフ制度等、適切に教育活動を支援する制度を整備していると評価できる。ただし、アシスタントスタッフ制度等の運用にかかる検証については、十分とは言えず、当該制度が教育活動の促進のうえで、どのような貢献等をしているか、伸長点・改善点を抽出のうえ、検証を行い、同制度の改善・成果向上に向けた方策を検討することが望まれる。</p>
長所・特色《箇条書き》
<p>課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載</p> <p>アシスタントスタッフ制度等が教育活動の促進のうえで、どのような貢献等をしているか、伸長点・改善点を抽出のうえ、検証を行い、同制度の改善・成果向上に向けた方策を検討することが望まれる。【留意点】</p>